



8月に肥料や農薬の販売会を行います！！

～ 詳細は営農経済センターだより8月にてお知らせいたします。～

予約商品のお引き取りについて

「防鳥網資材」のお引き取り時期はお電話にてご連絡をお願いいたします。

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。※都合により不在の場合があります。 相談日：毎週月曜・火曜・水曜・木曜・金曜・日曜 時間：9時～16時まで
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) ・はるみ玄米(1kg)480円→440円(税込) ・キヌヒカリ玄米(1kg)430円→390円(税込) 7月は12日・26日となります。
棚卸の日	7月29日(金)は棚卸のため、15時に閉店致します。 尚、コイン精米機は17時まで営業致します。

～ 作物管理情報 ～

【温州みかん】・【不知火・はるみ・湘南ゴールド】

病害虫防除 7月下旬～8月中旬 黒点病の防除が重要となります。必ず行いましょう。

黒点病 シマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100ℓ

又は ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100ℓ

(温州みかん 収穫30日前 4回/かんきつ(温州みかんを除く) 収穫90日前 4回)

ミカンハモグリガ フェニックス顆粒水和剤 4,000倍 25g/水100ℓ 収穫前日 2回

又は エクシレルSE 5,000倍 20ml/水100ℓ 収穫前日 3回

(※ エクシレルSEは店舗にございませんので、ご注文となります。)

ミカンハダニ コテツフロアブル(劇) 2000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 2回

樹別摘果 (大津・青島)

裏年の樹は7月中旬に全摘果しましょう。表年の樹は、この時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょう。

摘果 (不知火・はるみ・湘南ゴールド)

*不知火・はるみは樹勢維持のため、生理落果が始まったら樹冠上部1/3から1/4を全摘果します。

不知火は生理落果終了後に葉100枚に1果、はるみは7月下旬までに葉120枚に1果を目安に摘果します。

*夏季に乾燥を受けると高酸になりますので、灌水や敷き藁を行い、過乾燥を防ぎましょう。

*湘南ゴールドは7月20日時点で果実の横径が20mm以下(1円硬貨程度)と粗皮やス上がり果の発生しやすい表層成りの果実を摘果する方法が有効です。

【う め】

病害虫防除 7月中旬～下旬

黒星病・環紋葉枯病 トップジンM水和剤 1,500倍 66g/水100ℓ 収穫21日前 3回

礼肥の施用 5月下旬～7月中下旬

梅配合 120kg/10a

目的：樹勢回復と翌年の花芽充実のため。一番重要な肥料なので、必ず施用しましょう。

【キウイフルーツ】

病害虫防除	7月上旬～中旬				
果実軟腐病	ベルコート水和剤	1,000倍	100g/水100ℓ	収穫前日	
	又は ナリアWDG	2,000倍	50ml/水100ℓ	収穫前日	2回
キウイヒメヨコバイ カイガラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤 (劇)	2,000倍	50g/水100ℓ	収穫7日前	3回
カメムシ類発生時	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	50g/水100ℓ	収穫前日	3回
夏季剪定	止め葉が出る6月中旬ごろより夏季剪定を実施し、棚下の明るさを維持しましょう。 *晴天の日で、土の表面にとこるところ日射が射す程度				
乾燥防止対策	梅雨明け後の乾燥に注意。敷き藁や灌水を実施し、土壌の乾燥を防ぎましょう。				

【水 稲】

中干し	効果 ① 無効分けつを抑える ② 根の活力を高める ③ 倒伏に強くする ④ 田面を固くして秋のコンバイン等の作業性を高めるなど。 田面に軽くひびが入る程度を目安に、5日から1週間程度行います。(強い中干しはさける) 土壌中に酸素を送り根の健全な生育を促します。茎数が1株20本を超えたら実施しましょう。				
追 肥	中干しが終わると、追肥の時期となります。 ※元肥一発肥料を使用した場合には原則、追肥の必要はありません。 幼穂の長さが2cm前後になった頃を追肥時期を目安にしましょう。 キヌヒカリ・はるみ 出穂15日前頃 化成肥料 17-0-17 12kg程度/10a さとじまん 出穂15日前頃 化成肥料 17-0-17 12~18kg程度/10a てんこもり 出穂20日前頃 化成肥料 17-0-17 18kg程度/10a 施肥時期の目安 (5月25日植えの場合) キヌヒカリ・はるみ 7月22日前後 てんこもり 7月22日前後 さとじまん 7月30日前後 葉色が濃い場合や茎数が多い場合は倒伏につながる為、追肥時期を遅らせ施肥量を減らしましょう。 出穂期の目安 (5月25日植えの場合) キヌヒカリ・はるみ 8月6日頃 てんこもり 8月11日頃 さとじまん 8月13日頃				
病害虫防除	7月中旬～下旬				
紋枯病	リンバー粒剤	3~4 kg/10a	収穫30日前	2回	
	モンカット粒剤	3~4 kg/10a	収穫14日前	3回	
	出穂30日前～出穂期に、株元にかかるよう散布				
イネツトムシ	パダンバッサ粒剤 (劇)	3~4kg/10a	収穫30日前	5回	又は
ウンカ類	スミチオン乳剤	1,000倍 100ml/水100ℓ	収穫21日前	2回	
ニカメイチュウ	(※但し、ウンカ類はヒメトビウンカのみ)				
イネツトムシ	パダン粒剤4 (劇)	3~4 kg/10a	収穫30日前	6回	常発地区は必ず散布
※縞葉枯病の症状が出ている株を発見したら、株ごと抜き取り園外廃棄を行いましょう。					
中後期除草に使用する2, 4Dアミン塩について、有効分けつ終止期～幼穂形成期前まで、収穫60日前までとなっています。収穫前日数については十分注意しましょう。					

【 くり 】

病害虫防除	6月下旬～7月下旬				
カミキリムシ類	トラサイドA乳剤	200倍	500ml/水100ℓ	収穫14日前	1回
	葉にかからないように樹幹に散布します。				
実炭疽病	ジマンダイセン水和剤	600倍	166g/水100ℓ	収穫7日前	2回
施 肥	7月中旬				
化成肥料	14-14-14	20kg/10a	(梅雨明け前に施用)		

【お茶】

病害虫防除 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行きましょう。

6月下旬～7月上旬

輪斑病・新梢枯死症 カスミンボルドー 1,000倍 100g/水100㍓ 摘採14日前 2回
※剪整枝後、出来るだけ早く（3日以内）散布する。

7月中旬～7月下旬

チャノミドリヒメヨコバイ コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100㍓ 摘採7日前 2回

チャノキイロアザミウマ

チャトゲコナジラミ

※夏整枝後、2週間を目安に散布する。

①二番茶を摘採した場合の管理

整枝作業

整枝時期 二番茶摘採10日後を目安に、遅れ芽が出揃うのを待ってから行いましょう。

整枝位置 二番茶の摘採面

※整枝を怠ると摘採面が不揃いになりやすく、来年の一番茶の減収を招きやすいので、必ず行いましょう。

②二番茶を摘採しない場合の管理

整枝作業

整枝時期 7月上旬を目安に、二番茶芽が出揃うのを待ってから行いましょう。

整枝位置 一番茶摘採面の2～3cm上で行いましょう。ただし、二番茶芽が病害虫の被害で十分に生育しなかった場合は、一番茶摘採面より数cm下で整枝します。

※整枝を怠ると芽数が少なくなり、株面の枝が不揃いになるため、来年の一番茶の減収を招くので、必ず行いましょう。

【かき】

病害虫防除 7月上旬～中旬 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行きましょう。

フジコナカイガラムシ スミチオン水和剤40 1,000倍 100g/水100㍓ 収穫30日前 3回

カメムシ類

イラガ類

うどんこ病 ストロビードライフロアブル 3,000倍 33g/水100㍓ 収穫14日前 3回

カメムシ発生時の対策 7月上旬～10月下旬(夜間の飛来と加害が多いため、夕方に散布しましょう)

モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 25g/水100㍓ 収穫前日 3回

*カメムシは山林から飛来して加害します。農薬散布後も、園内を良く見回しましょう。

摘果 (肥大促進・翌年の花芽分化促進)

7月中旬までに1結果母枝に2～3果、1結果枝に1果を目安に摘果をしましょう。この時期に摘果し肥大促進させないと、以後の肥大が悪くなります。

【いちじく】

病害虫防除 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行きましょう。

7月上旬

アザミウマ類

モスピラン顆粒水溶剤(劇) 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回

ギボシカミキリムシ

カイガラムシ類

疫病

ランマンフロアブル 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫前日 3回

7月下旬(梅雨明け後)

さび病

トリフミン水和剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回

土壌管理

いちじくの根は乾燥・過湿の両方に弱く、この時期の根の伸長具合が収量に大きく影響するので、梅雨期は排水し、梅雨明け後に乾燥が続く場合は灌水を10日に1回程度行いましょう。

*ただし、株枯病が発生している園では病気が蔓延する恐れがあるので、掛け流し灌水は行わない。

令和4年度酒匂川左岸・右岸の干し及び落水のお知らせ

【酒匂川右岸土地改良区】 (お問い合わせ先：酒匂川右岸土地改良区 TEL 46-9598)

一番干し (干し3日間) 令和4年7月1日(金) ~ 7月3日(日)

※6日30日の夕方に水門を閉め、7月3日の夕方に水門を開けます

6月30日 午後5時~全量止水

7月3日 午後5時~全量通水

二番干し (干し3日間) 令和4年7月15日(金) ~ 7月17日(日)

※7月14日の夕方に水門を閉め、17日の夕方に水門を開けます

7月14日 午後5時~全量止水

7月17日 午後5時~全量通水

【酒匂川左岸土地改良区】 (お問い合わせ先：酒匂川左岸土地改良区 TEL 42-3559)

一番干し (干し3日間) 令和4年7月1日(金)~7月3日(日) 午前5時~全量止水

二番干し (干し4日間) 令和4年7月15日(金)~7月18日(月) 午前5時~全量止水

2分の1落水 令和4年9月15日(木) 午前7時

全量落水 令和4年9月30日(金) 午後5時

カクイチ×全農西部農機自動車センター展示会

日時：令和4年7月8日(金)、9日(土) 午前10時~午後3時まで

場所：カクイチ A-SITE 西湘 (開成町みなみ 2-1-2、TEL 0465-44-4861)

内容：倉庫・電動農具などの展示販売。地元野菜の直売も行います。

水稻栽培講習会の開催について ~追肥のポイントをつかむ!~

1. 日時・会場 ※雨天決行

日付	時間	集合場所	備考
7/11 (月)	10:00~11:00	開成事業所 倉庫前 (開成町吉田島 2000)	集合後、圃場へ移動します。
7/13 (水)	10:00~11:00	中井営農経済センター 倉庫前 (中井町比奈窪 68)	集合後、圃場へ移動します。
	13:30~14:30	曾我みのり館 第2駐車場 (小田原市上曾我 2984)	集合後、圃場へ移動します。
7/14 (木)	10:00~11:00	栢山地区 (小田原消防署栢山出張所付近)	直接会場までお越しください。駐車スペースが少ないので、乗り合わせや徒歩等でお越しください。 ※集合場所は地図参照
	13:30~14:30	福沢総合選果場 (南足柄市怒田 1332)	集合後、圃場へ移動します。 ※圃場は地図参照

2. 対象者 JA かながわ西湘管内組合員(水稻栽培者)

3. 内容 ①追肥について ②その他(「てんこもり」について・肥料農薬紹介 など)

4. 講師 農業技術センター

5. 申込期日 令和4年7月4日(月)まで

6. 申込先 営農部営農指導課 又は 最寄りの支店・センターまでお申込みください。

※全日程同じ内容ですので、希望する日程にご参加ください。

※水田にて稲の観察をしますので、雨・暑さ対策を各自お願いします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止につき、長時間の密集を防ぐため講習時間は1時間程度とさせていただきます。また、発熱や風邪の症状がある方は参加をお控えください。

お問い合わせ：営農部営農指導課 TEL 46-6950